

---

# 私の高校生時代

彩乃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私の高校生時代

### 【Nコード】

N5388C

### 【作者名】

彩乃

### 【あらすじ】

彩乃の高校生時代に本当にあつた事をオムニバス風に描きます。尚、更新は高校生になってからです。更新不定期なのはご了承ください。

最初に・・・

此の話しは作者・彩乃についての高校生時代の実話を書いていきます。オムバニス式で書いていくつもりです

あやのについては実話ですがそれ以外は実際の団体様には関係ないです

尚、更新は高校生になってから行います。  
更新不定期です。

最初に・・・（後書き）

彩乃です^^高校受験終了して時間に余裕があれば更新するつもりです！

次の更新が何時になるのかわかりませんがご了承くださいませm

（――）m

## 雪降る時（前書き）

顔文字等は、故意です。御了承下さいm（―）m

## 雪降る時

もう1月中旬も過ぎて下旬かぁ……。

白い雪が降って来たわ。それに寒いね。

うち・あやのの高校一年生として生活ももうあと二ヶ月で終わりね……。勉強ばかりであんまり実感しなかったんだけど。

まっ、いいか……！ 今日、久しぶりに親友の里奈ちゃんりなと逢う訳だし。

それにしても里奈ちゃんも学業で忙しく無いかなあ？ だって家から遠い学校へ通っているし……。大変だよ。昨日ね、メールでこんなメールが来たんだよ。

何気無く携帯のディスプレイに目をやって見たの。すると……。

『送信者：里奈

久しぶりに会おうね（、　ゞ

彩乃ちゃん！？ 元気いい！？ 突然だけど、里奈だよo（^-^）o

ちなみに、うちは元気にやっているよ♪θ（^o^）

突然だけど、彩乃ちゃん——

一月の間に空いている日って有る？ もし空いている日が有ったら、昔よくよく行っていた公園に行く？

雪がね、積もっているよ。でも、御免ねっ。彩乃ちゃんの学校

って勉強で忙しいんだよね(?!?)

遊んでいる暇って無いんだよね(ρ|;) )

やっぱり彩乃ちゃんには敵わないなあ……。

なあんて暗い話しは置いといて 彩乃ちゃんあんまりメールしないんだから、ちゃんと返事のメール頂戴ね！ 以上里奈からねっ」

意外にも長々とした里奈の文章に驚いたわ。顔文字は相変わらず使っているみたいね。

でも、ちよつと心情を吐露したような文面。やっぱり里奈ちゃん戸惑っているのかなあ？

里奈ちゃん……。

何となく感じていた。進路を決めて時からあやのと里奈ちゃんが別々の道を歩むって。

でもそんな事を云っても何時かは別れがあるんだから悲しいんでも淋しがったてもしょうがないと思った。 離ればなれに為って早半年が過ぎて今更淋しさなんて感じていなかった。

やっぱり心残りはあるけど、同じ小学校で、同じ中学校で、同じ高校で学生時代の進路が全く同じ子だっているから何とか大丈夫よ。――それに新しい友達だって何人が作ったから、過去を振り返らずに今を信じて頑張って来たわ。

でも、ちよつと里奈ちゃんに逢ってみたい。親友の顔をみたいなんて夢みちやっとなあ。

あやのの事を親友だっと思ってってくれているのかなあ？ 公園に呼び出して来たって事だから。

色々と過去の思い出に耽る前に取り敢えずメールを返さなくちゃ！！

『宛先：里奈

Re：久しぶりに逢おうね(、´ヾ

うん！！ わかった！！　じゃあ、明日　公園で待ち合わせね　」

あやのも星を一つ入れて見たわ。

里奈ちゃんに逢えると良いけどね。

……と昨日の突然のメールには、びっくりしたわね。学校が違つと中々逢えないものね。今日は里奈ちゃんにやつと逢えるんだから……その一瞬一瞬を大切にしなければいけないねっ！

私は簡単な荷物を背負つて、家から外へ出たわ。そして、待ち合わせ場所の　公園までレッツゴー！！　因みにレッツゴーは英語でLet's　goって書くからねっ！　どうでもいいけど、進学校生の戯れ言思わず表してしまった！

スピードがやや速める。妙に動悸が加速する。　やっぱりワクワク？　ドキドキ？　しているのかな。親友に逢えるのが毎日なんてものじゃ無いもの。まってるねっ！　里奈ちゃん！！　あやのは雪の層のような道を歩く。

長靴が埋もれそうだけど、今の私にはそんなの関係無い！！

雪が積もっている。信じれない位に……  
やってたどり着いた。そして、里奈ちゃんは……

「彩乃ちゃん——！！」

り、里奈ちゃん？　嬉しくて目頭が熱くなる。

「里奈ちゃん？」

うちは嬉しくて里奈ちゃんの許へ行く。

「里奈ちゃん！！　里奈ちゃん！！」

あやのは咽びながらただ声を張り上げる。そんな不器用なあやのを里奈ちゃんは、傍観してくる。

「彩乃ちゃん——知っている？ 此処がどんなに場所かつて？」

里奈ちゃんがわけありな表情で私に尋ねてくる。

あやのには此処にそんな深い思い出なんて無い。——ただ、近くながらなんの気なしに行つた事は有るなあっていう位だけ……。

「えっ、分からない……。何？」

何が何だか分からないあやのは怪訝そうな表情に作る。

「何行っているのよ？ 雪が沢山積もる処よ？」

里奈ちゃんが一面に広がる白い雪の指を指して教えてくるわ。そんな指を指さなくても雪が積もっている事位分かるわよ……。成る程、そういう意味で聞いたのね。

「うちさ、彩乃ちゃんに見せたかつたんだ！ この白い雪を！ 余計なお世話かもしれないけど、ホラ彩乃ちゃんも勉強ばかりじゃあ息苦しいだろうなあって思つて……。それに——」

里奈ちゃん……。こんなに私の事を考えてくれていたんだ！ もしも——もしも本当に親友だと思つているのは、あやのだけじゃあ無いかもしれない。

里奈ちゃんだつてあやのの事を……。些細な事で淡い希望を持つてしまつたわね。大袈裟？

「久々に親友の彩乃ちゃんと逢いたかつたんだあ！ 学歴云々関係無しに純粹に彩乃ちゃんと逢いたかつたんだよ」

「里奈ちゃん」

「うちさ、良かったよ。彩乃ちゃんが親友で——。こうして久しぶりに雪を傍観してられる事も出来て」

あやのも同じ気持ちよ。良かったよ。里奈ちゃんと逢えて。勉強ばかりで季節を感じる事なんて無かつたけど、里奈ちゃんと雪を見て

感情が込み上がってきたわ。

久しぶりに銀世界を眺める事が出来たと思っているわ。  
有り難う——里奈ちゃん。

## 雪降る時（後書き）

お久し振りで御座います。彩乃です！ 未だ高校生で無いですが、雪が好きと云った理由で投稿しました。

――今現在、小説家になろうの魔法戦隊三輪野助先生「W6465A」と共同でブログを更新しております。わたくしは殆んど書いておりませんが・・・

ブログアドレス、

<http://mblog.tv/miwanosuke/>

より、訪問ORコメントお願い致しますm(´`)(´`m  
不快なら、御免なさいm(´`)(´`m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5388c/>

---

私の高校生時代

2010年10月10日03時58分発行